

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		ゆりかご・たいとう				所管	健康部 保健サービス課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	196	計画事業名	ゆりかご・たいとう				
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成						事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1)安心して子育てできる環境づくり						[事業開始]	平成 2 8 年度
		[施 策] ①子どもを生み育てる世代への支援						[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		①出産・子育て応援事業実施要綱 ②出産・子育て応援事業補助金交付要綱 ③子ども・子育て支援交付金交付要綱				
	事業対象	直接の対象 : 区内在住の妊婦 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	若年夫婦、望まない妊娠や孤立した妊産婦家庭等に対し支援がない状況が、乳幼児や児童の虐待、居所不明児の要因のひとつとされている。産前から産後まで切れ目のない妊産婦支援を強化し、虐待等を未然に防止する。							
	事業内容 [29年度]	妊娠届出時などの機会を捉え、保健師等の専門職が妊婦に対し母子保健や育児の悩み等について相談支援のための面接を行う。また妊娠中に面接した子育て家庭に、妊娠・出産・育児に役立つ育児パッケージを配布する。(29年度:こども商品券1万円分)							
委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	面接実施場所数	箇所	2	-	2	2	-	
				達成率	-	-			
	成果指標	面接数	人	1,760	-	1,620	1,583	-	
				達成率	-	-			
	決算額 (単位:千円)				27年度	28年度	29年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-	27,634	26,580		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-	30,689	13,806		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-	20,575	19,898		
		総経費			-	0	0		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-	51,264	33,704			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-	0	0			
	一般財源(区負担額)			-	25,904	22,620			
前回評価から29年度に改善した事項	平成30年度から評価対象となったため、前回評価なし								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	出産・育児を迎える妊婦に対して、保健師等の専門職が面接を行うことにより、産前から産後まで切れ目のない支援に繋げることができる本事業の必要性は高い。						
	効率性	3	妊娠届出時などの機会を捉え、保健師等の専門職が面接するため、効果的に適切な支援を行うことができている。						
	手段の適切性	3	保健師等の専門職が面接を行うことで、産前から産後までの切れ目のない支援に繋ぐことができ、事業手法はおおむね適切である。						
	目的達成度	3	対象となるすべての妊婦に対して面接を実施することが課題ではあるが、面接を受けた妊婦の満足度はおおむね良好であり、事業の目的はおおむね達成されている。						
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
対象となるすべての妊婦に対して面接を実施するため、勧奨通知を送付するなど、今後も周知啓発に取り組んで行き、産前から産後までの切れ目のない支援の強化に努めていく必要がある。						維持	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		